

# 山形県村山地域AMR（薬剤耐性）対策 ネットワークの活動報告

山形県庄内保健所 医療監（兼）保健所長 森 福治  
（前所属 山形県村山保健所）

# 山形県 4つの地域（二次医療圏）

山形日和。



県庁所在地 山形市（中核市）

人口

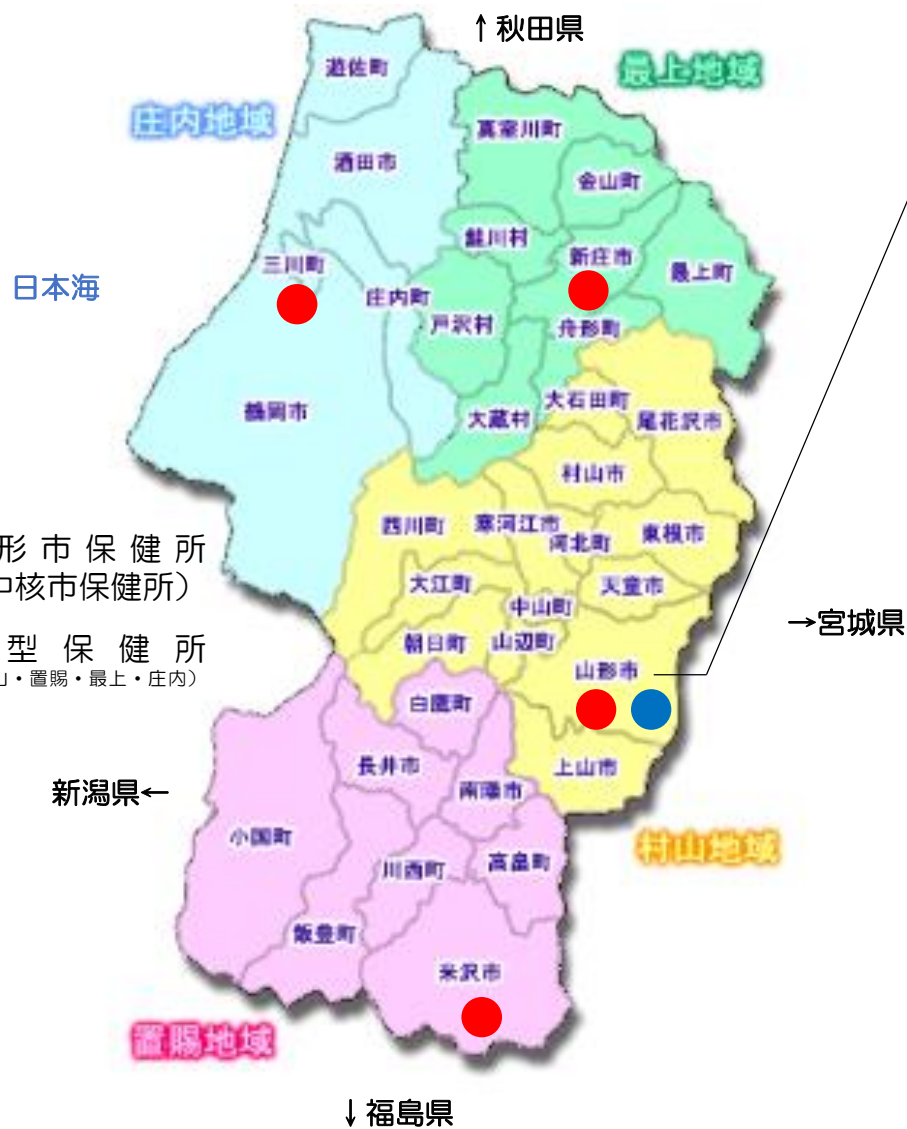
・村山地域（7市7町） 約50万

・置賜地域（3市5町） 約19万

・最上地域（1市4町3村） 約6万

・庄内地域（2市3町） 約24万

（県型保健所4、中核市保健所1）



# 山形県村山地域AMR（薬剤耐性）対策ネットワーク設置の背景と目的

- 背景** AMRは喫緊の課題であり、国のAMRアクションプランでも地域の対策が重要とされている
- 目的** 山形県村山地域の医療機関、医師会、薬剤師会等が地域の薬剤耐性に関する動向や情報共有を図る
- 事務局** 山形県村山保健所、山形市保健所

# 山形県村山地域AMR（薬剤耐性）対策ネットワーク設置の経緯



- 2023 (R5) **地域の基幹4病院の関係者と対面で説明、意見聴取、合意形成**  
保健所が事務局となって設立
- 2024 (R6) **地域の6病院が新たに参加**  
臨床検査技師会が参加  
調査、会議参加が計10病院となる
- 2025 (R7) **調査の継続とネットワークのさらなる拡大を目指す**
- 2027 (R9) **アクションプランの評価**

# 山形県村山地域AMR（薬剤耐性）対策ネットワークの活動



2023 (R5)

ネットワーク会議  
R4 JANISの**薬剤耐性調査**  
研修会（**AMR対策全般**）

2024 (R6)

R5 JANISの薬剤耐性調査  
ネットワーク会議  
研修会（**VREの事例報告**）

2025 (R7)

R6 JANISの薬剤耐性調査  
**学会報告、幹事会**  
ネットワーク会議（予定）





# 村山地域の薬剤耐性に関する調査

令和4年、令和5年の山形県村山地域の薬剤耐性の現状を明らかにするため、院内感染対策サーベイランス（JANIS）情報から、調査前年度における以下の項目を抽出して集計した

- ・バンコマイシン耐性腸球菌の罹患数
- ・黄色ブドウ球菌のメチシリン耐性率
- ・大腸菌のフルオロキノロン耐性率
- ・緑膿菌のカルバペネム耐性率
- ・大腸菌・肺炎桿菌のカルバペネム耐性率 など

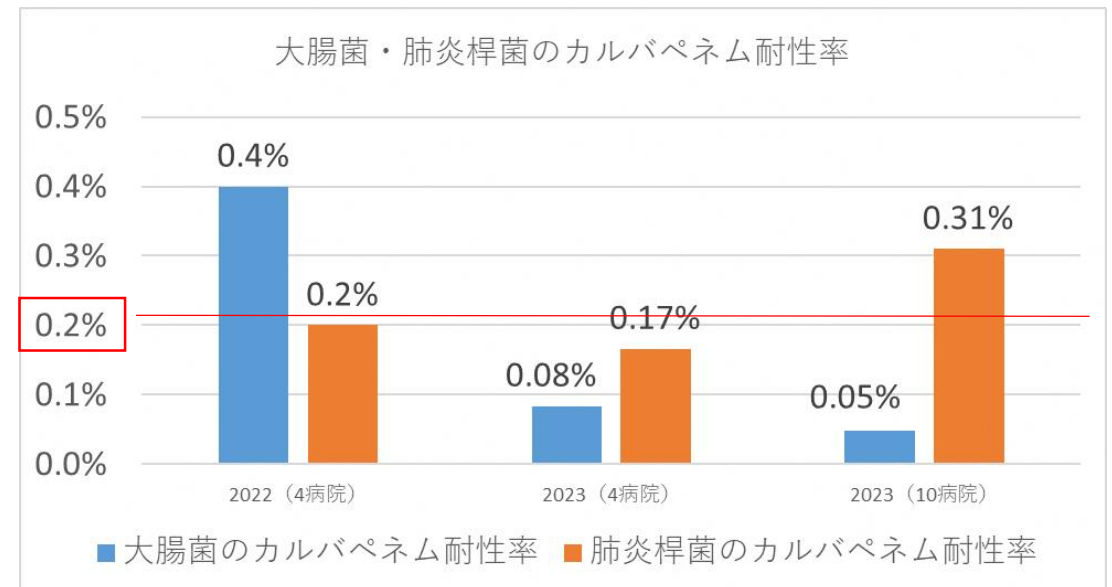
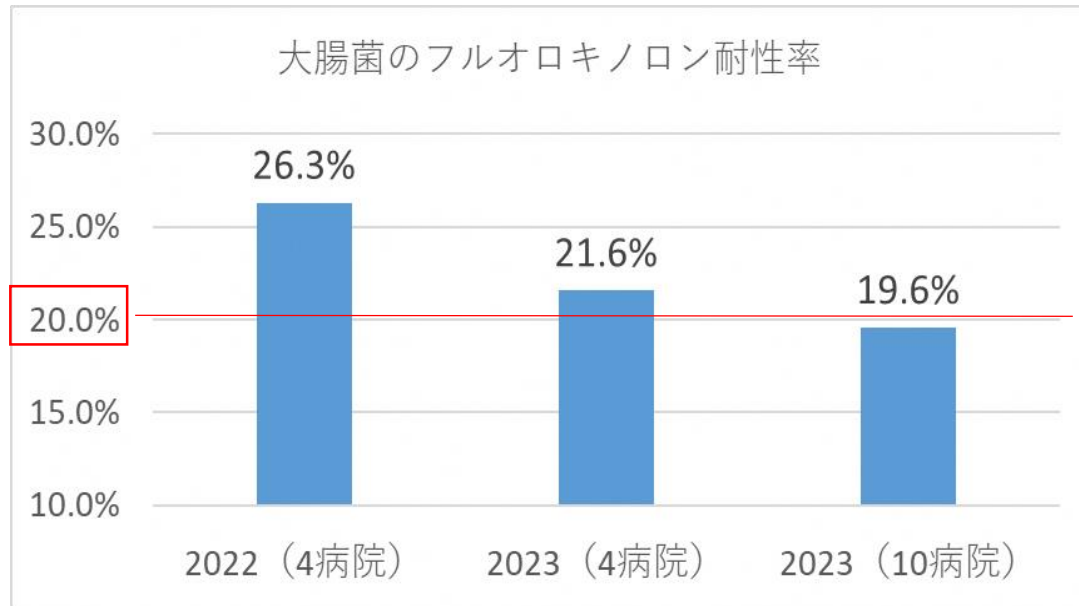
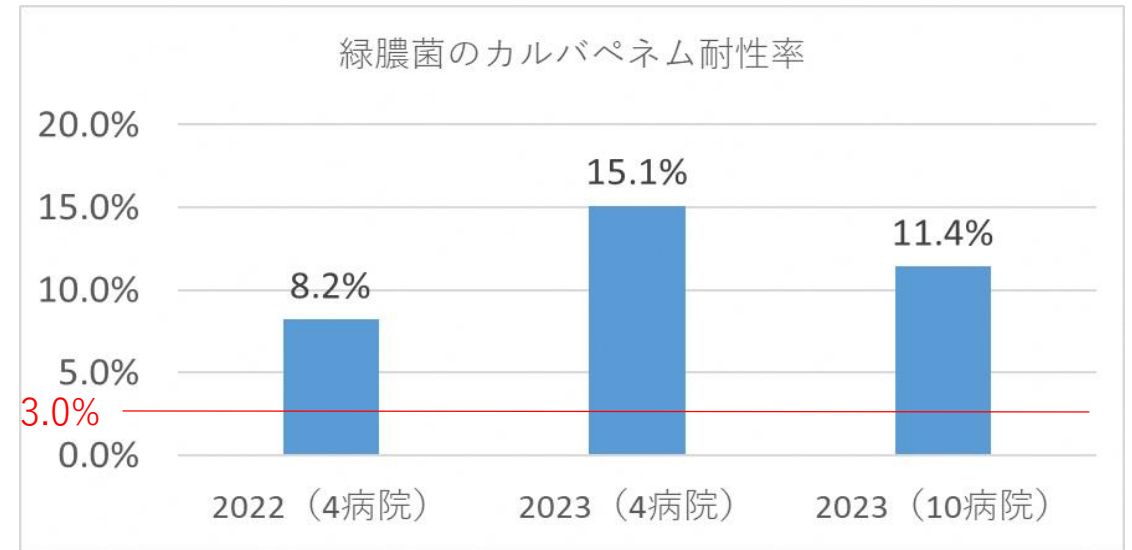
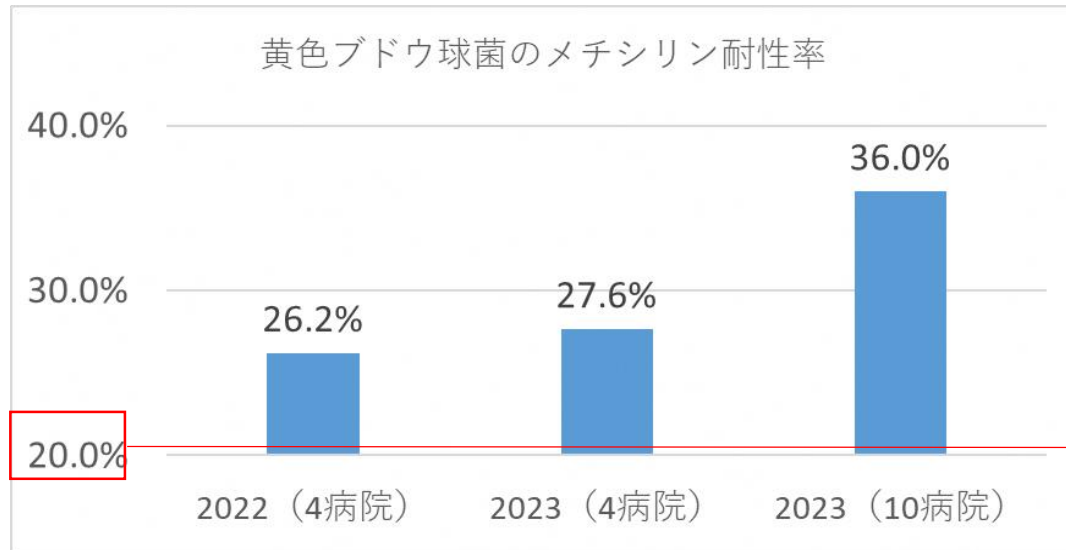
## R4・R5の調査結果とAMRアクションプランの目標値との比較

	目標値		4病院	10病院	
AMRアクションプランの指標	2020年	2027年	R4(2022)	R5(2023)	達成／未達成
バンコマイシン耐性菌腸球菌感染症の罹患数	135人	80人以下	0	1	—
黄色ブドウ球菌のメチシリン耐性率	50%	20%以下	26.2	36.0	未達成
大腸菌のフルオロキノロン耐性率	35%	30%以下	26.3	28.6	達成
緑膿菌のカルバペネム耐性率	11%	3%以下	8.2	11.4	未達成
大腸菌・肺炎桿菌のカルバペネム耐性率（※）	0.1-0.2%	0.2%以下	-	-	-
大腸菌のカルバペネム耐性率			0.4	0.0	達成
肺炎桿菌のカルバペネム耐性率			0.2	0.3	未達成

※村山AMRネットワークの集計結果としては大腸菌と肺炎桿菌をそれぞれ別で集計して表記した

調査結果を保健所のホームページで公表

## R4・R5の調査結果とAMRアクションプランの目標値との比較



# 山形県村山地域AMR（薬剤耐性）対策ネットワークの今後の展望

村山地域の関係機関が連携してAMR対策を進めていくため、

- 地域の薬剤耐性に関する動向調査や情報共有
- 地域住民への啓発

などの活動を継続していく。

地域で取組むAMR対策 ÷ 健康危機管理（感染症）